

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
担当課長名：服部 卓也

事業名 連続立体交差事業 <small>にしにほんてつどうてんじんおおむたせん</small> 西日本鉄道天神大牟田線 <small>かすがぼる しもおおり</small> （春日原駅～下大利駅間）	事業区分	連続立体交差	事業主体	福岡県			
起終点	自：福岡県大野城市栄町一丁目 <small>おおのじょう さかえまち</small> 至：福岡県大野城市下大利三丁目 <small>おおのじょう しもおおり</small>			延長	3.3km		
事業概要 本事業は、西日本鉄道天神大牟田線の春日原駅から下大利駅までの約3.3kmにおいて、鉄道を高架化することにより12箇所の踏切を除却し、踏切による交通渋滞の解消等交通の円滑化を図るとともに、線路により分断された市街地を一体化することによって土地の利用価値を向上させ、都市の活性化を図る事業である。							
H15年度事業化		H13年度都市計画決定 (H19年度変更)		H15年度用地着手		H23年度工事着手	
全体事業費	約727億円		事業進捗率	約84%		供用済延長	3.3km
計画交通量	459,077台時/日（踏切交通遮断量）						
費用対効果	B/C （事業全体） 1.04 （残事業） —	総費用 （残事業）/（事業全体） — /719億円 事業費：- /719億円 維持管理費：- / 0億円	総便益 （残事業）/（事業全体） - /751億円 移動時間短縮便益：- /628億円 走行経費減少便益：- /18億円 交通事故減少便益：- /33億円 その他便益：- /72億円	基準年 令和4年			
感度分析の結果 （事業全体）交通量：B/C=0.94~1.15（交通量±10%） 事業費：B/C=1.02~1.05（事業費±10%） 事業期間：B/C=0.95~1.16（事業期間±20%）							
事業の効果等 ・沿線市街地の活性化や土地利用の変化等による経済効果・踏切事故や地震等による踏切遮断の回避 ・踏切騒音の減少など、環境の改善 ・鉄道により分断されていた市街地が一体化されるなど地域のまちづくりに貢献 ※その他便益の詳細は、 福岡県 HP							
関係する地方公共団体等の意見 特になし。							
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。							
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率約84% 令和4年8月に隣接して福岡市が実施している西鉄天神大牟田線（雑餉隈駅付近）の連続立体交差事業区間との同時高架切替が完了。 <small>ざっしよのくま</small>							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 令和6年度の事業完了に向けて進める。							
施設の構造や工法の変更等 残工事は僅かであるが、今後もコスト縮減に努める。							
対応方針 事業継続							
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。							

事業概要図



凡例



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。